

第 48 回 定時社員総会

日 時 令和 8 年 6 月 24 日

15 : 30 ~ 16 : 30

場 所 砂防会館別館 立山会議室



一般社団法人 斜面防災対策技術協会

第48回 定時社員総会次第

日 時 令和8年6月24日（水）
15：30～16：30（予定）
場 所 砂防会館別館 立山会議室

開 会

1. 挨拶

2. 議 事

第1号議案 令和7年度収支決算承認の件

第2号議案 役員選任の件

（報告事項）

第1号報告 令和7年度事業報告の件

第2号報告 令和8年度事業計画報告の件

第3号報告 令和8年度収支予算報告の件

閉 会

目 次

第 1 号議案	令和 7 年度収支決算承認の件	1
(1)	貸借対照表	2
(2)	正味財産増減計算書	4
(3)	財産目録	7
	監査報告書	9
第 2 号議案	役員選任の件	11

(報告事項)

第 1 号報告	令和 7 年度事業報告の件	13
第 2 号報告	令和 8 年度事業計画報告の件	21
第 3 号報告	令和 8 年度収支予算報告の件	26

第 1 号議案 令和 7 年度収支決算承認の件

貸 借 対 照 表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	本部	支部	合計	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金	1,850,004	35,304,691	37,154,695	預金は普通預金
前払金	50,000	0	50,000	
未収金	32,350	0	32,350	
商品	3,815,782	0	3,815,782	棚卸高
立替金	0	14,190	14,190	
流動資産合計	5,748,136	35,318,881	41,067,017	
2 固定資産		0		
(1) 特定資産				
①登録試験事業積立資産	0	0	0	
②技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	
③出版事業積立資産	0	0	0	
④職員退職積立金	0	1,956,164	1,956,164	
⑤運営資金積立金	0	12,323,542	12,323,542	事業積立以外の定期預金等
特定資産合計	0	14,279,706	14,279,706	
(2) その他固定資産				
什器備品	1	0	1	
電話加入権	6,000	0	6,000	
敷金	1,358,280	240,000	1,598,280	
その他固定資産合計	1,364,281	240,000	1,604,281	
固定資産合計	1,364,281	14,519,706	15,883,987	
資産合計	7,112,417	49,838,587	56,951,004	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3,339,278	100,000	3,439,278	
前受金	20,400	0	20,400	
預り金	296,164	0	296,164	
仮受金	5,500	0	5,500	
流動負債合計	3,661,342	100,000	3,761,342	
2 固定負債				
退職給与引当金	0	1,956,164	1,956,164	
固定負債合計	0	1,956,164	1,956,164	
負債合計	3,661,342	2,056,164	5,717,506	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	3,451,075	47,782,423	51,233,498	
(うち基本財産への充当額)	()	()	(0)	
(うち特定資産への充当額)	(0)	(14,279,706)	(14,279,706)	
正味財産合計	3,451,075	47,782,423	51,233,498	
負債及び正味財産合計	7,112,417	49,838,587	56,951,004	

貸借対照表（本部、支部を合計した値と前年度との比較）
令和8年3月31日現在

（単位：円）

科 目	令和7年度	令和6年度	増減	備 考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金	37,154,695	38,885,872	△ 1,731,177	預金は普通預金
前払金	50,000	0	50,000	
未収金	32,350	269,190	△ 236,840	
商品	3,815,782	5,387,706	△ 1,571,924	棚卸高
立替金	14,190	6,200	7,990	
流動資産合計	41,067,017	44,548,968	△ 3,481,951	
2 固定資産				
(1) 特定資産				
①登録試験事業積立資産	0	0	0	
②技術フォーラム事業積立	0	0	0	
③出版事業積立資産	0	0	0	
④職員退職積立金	1,956,164	1,654,541	301,623	
⑤運営資金積立金	12,323,542	12,300,052	23,490	事業積立以外の定期預金等
特定資産合計	14,279,706	13,954,593	325,113	
(2) その他固定資産			0	
什器備品	1	1	0	
電話加入権	6,000	6,000	0	
敷金	1,598,280	1,598,280	0	
その他固定資産合計	1,604,281	1,604,281	0	
固定資産合計	15,883,987	15,558,874	325,113	
資産合計	56,951,004	60,107,842	△ 3,156,838	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	3,439,278	3,674,469	△ 235,191	
前受金	20,400	23,400	△ 3,000	
預り金	296,164	286,783	9,381	
借受金	5,500	0	5,500	
流動負債合計	3,761,342	3,984,652	△ 223,310	
2 固定負債				
退職給与引当金	1,956,164	1,654,541	301,623	
固定負債合計	1,956,164	1,654,541	301,623	
負債合計	5,717,506	5,639,193	78,313	
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	
2 一般正味財産				
一般正味財産合計	51,233,498	54,468,649	△ 3,235,151	
（うち基本財産への充当額）		0	0	
（うち特定資産への充当額）		0	0	
正味財産合計	51,233,498	54,468,649	△ 3,235,151	
負債及び正味財産合計	56,951,004	60,107,842	△ 3,156,838	

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	本部	支部	合計	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 入会金収益	(700,000)	(30,000)	(730,000)	
本部入会金	700,000		700,000	本部正会員の入会金
支部入会金		30,000	30,000	支部の入会金
② 会費収益	(33,005,000)	(32,855,000)	(65,860,000)	
正会員会費	30,430,000		30,430,000	本部正会員の年会費
賛助会員会費	2,575,000		2,575,000	本部賛助会員の年会費
支部会費		32,855,000	32,855,000	支部会費
③ 事業収益	(31,730,790)	(7,790,909)	(39,521,699)	
印刷物頒布収益	4,029,190	139,366	4,168,556	会誌やその他印刷物の頒布収入、会誌広告収入
試験等事業収益	24,737,600	496,853	25,234,453	試験、講習会、研修会の受講費用等
技術フォーラム参加収益	2,664,000	1,897,690	4,561,690	技術フォーラム講演集、意見交換会参加費用
技術研修会等収益	0	1,157,000	1,157,000	
業務受託収益	300,000	4,100,000	4,400,000	事務受託等、受託業務の収入
④ 雑収益	(710,413)	(1,103,781)	(1,814,194)	
受取利息	19,413	96,753	116,166	預金等の受取利息
支部活動費(本部から)		300,000	300,000	
その他収益	691,000	707,028	1,398,028	
経常収益計	66,146,203	41,779,690	107,925,893	
(2) 経常費用				
① 事業費	(49,163,979)	(14,467,688)	(63,631,667)	
期首商品棚卸高	5,387,706		5,387,706	
期末商品棚卸高	△ 3,815,782		△ 3,815,782	
技術開発研究費	487,803	1,101,615	1,589,418	技術関係委員会の会費や研修等の費用
職員給与	0	0	0	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	338,860	226,227	565,087	
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	0	62,590	62,590	
会場借上等費	67,493	780,798	848,291	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	15,000	15,000	
雑費	81,450	17,000	98,450	銀行金種別手数料等
試験等事業費	23,490,957	375,602	23,866,559	試験、講習会、研修会費用
職員給与	7,674,020	0	7,674,020	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	1,148,088	0	1,148,088	法定福利費等
旅費交通費	1,592,560	37,000	1,629,560	支部試験・講習会経費、試験委員会
通信運搬費	1,018,673	7,330	1,026,003	
消耗品費	187,711	0	187,711	
印刷製本費	3,533,087	0	3,533,087	
会場借上等費	5,835,229	189,447	6,024,676	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	2,405,800	125,706	2,531,506	
雑費	95,789	16,119	111,908	振込手数料、駐車場代等
人材育成事業費	7,316,883	8,907,617	16,224,500	フォーラム、研修会等開催費用等
職員給与	1,912,380	33,000	1,945,380	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	215,352	0	215,352	法定福利費等
旅費交通費	668,470	3,894,068	4,562,538	
通信運搬費	23,403	51,884	75,287	
消耗品費	29,817	0	29,817	
印刷製本費	1,339,173	670,630	2,009,803	
会場借上等費	2,960,526	3,216,815	6,177,341	
諸謝金	35,000	645,370	680,370	
雑費	132,762	395,850	528,612	
出版事業費	11,166,014	636,666	11,802,680	会誌や出版物に係る費用
職員給与	1,396,120	0	1,396,120	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	161,928	0	161,928	法定福利費等
旅費交通費	1,212,586	139,366	1,351,952	編集委員会、合同編集委員会座談会
通信運搬費	651,959	0	651,959	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	6,466,350	454,300	6,920,650	
印刷物購入費	0	12,000	12,000	協会出版物の購入費用等
会場借上等費	526,689	0	526,689	会場費、設備費、飲食費等

科 目	本部	支部	合計	備考
諸謝金	558,000	31,000	589,000	会誌原稿料、図書カード
雑費	192,382	0	192,382	振込手数料等
広報活動費	275,209	1,835,688	2,110,897	ホームページ制作、会誌等の配布、陳情等に係る費用
職員給与	0	0	0	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	216,360	1,180,387	1,396,747	企画委員会、HP委員会
通信運搬費	0	264,926	264,926	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	0	386,430	386,430	
会場借上費	58,849	0	58,849	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	0	0	
雑費	0	3,945	3,945	振込手数料
賃借料	2,990,189	0	2,990,189	事務所賃借料、コピー機、PC等のリース料を管理費と按分計上
その他の活動費	0	0	0	ホームページ制作、会誌等の配布、陳情等に係る費用
職員給与	0	0	0	
退職金	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	法定福利費等
旅費交通費	0	0	0	企画委員会、HP委員会
通信運搬費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
会場借上費	0	0	0	会場費、設備費、飲食費等
諸謝金	0	0	0	
雑費	0	0	0	振込手数料
広告宣伝費	55,000	571,500	626,500	日刊建設工業新聞、日刊建設通信新聞等への広告料
協賛金	1,410,000	339,000	1,749,000	協賛金、負担金、会費等
助成金	400,000	700,000	1,100,000	支部助成金、入会奨励金、フォーラム助成金、地すべり防止工事士会 等
② 管理費	(18,650,980)	(28,715,571)	(47,366,551)	
職員給与	4,866,820	7,325,000	12,191,820	
臨時雇用賃金	2,015,028	0	2,015,028	アルバイト料
役員退任慰労金	0	20,000	20,000	
退職給付費用	0	301,623	301,623	
福利厚生費	952,957	1,071,148	2,024,105	社会保険料等の法定福利費、職員の医療・健康費用等
委託費	1,464,092	5,160,000	6,624,092	事務(会計等)委託、清掃委託等の費用
会議費	1,897,060	4,395,146	6,292,206	理事会・総会・その他会議に係る会場費、飲食費
旅費交通費	868,730	2,436,609	3,305,339	職員の通勤費を含む
通信運搬費	313,104	1,194,637	1,507,741	電話、郵便、インターネット、宅配便等
消耗品費	446,090	818,491	1,264,581	事務用品費、新聞購読料等
消耗什器備品費	0	124,080	124,080	金額が10万円未満の事務用什器等
保守費(IT関係)	528,000	0	528,000	年間又は月次に定期的に支払っているIT関係の保守等の費用
印刷製本費	494,311	371,706	866,017	挨拶状や年賀状等の印刷費
水道光熱費	111,623	0	111,623	水道、電気、ガス
諸謝金	67,560	300,000	367,560	
賃借料	2,990,190	3,577,966	6,568,156	事務所賃借料、コピー機、PC等のリース料を事業費と按分計上
租税公課	1,324,000	81,000	1,405,000	印紙代等
諸会費	90,500	505,600	596,100	事業と関連のない会費(町内会費や法人会等)
渉外慶弔費	30,000	148,697	178,697	
雑費	190,915	883,868	1,074,783	振込手数料等
経常費用計	67,814,959	43,183,259	110,998,218	
当期経常増減額	△ 1,668,756	△ 1,403,569	△ 3,072,325	
経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
前期損益修正損	0	0	0	
電話加入権評価損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,668,756	△ 1,403,569	△ 3,072,325	
一般正味財産期首残高	5,119,831	49,185,992	54,305,823	繰越金+積立金+その他固定資産-固定負債
一般正味財産期末残高	3,451,075	47,782,423	51,233,498	
II 正味財産期末残高	3,451,075	47,782,423	51,233,498	

正味財産増減計算書(本部、支部を合計した値の前年度との比較)

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

科 目	当年度		(単位:円)
	令和7年度	令和6年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 入会金収益	(730,000)	(10,000)	(720,000)
② 会費収益	(65,860,000)	(64,755,000)	(1,105,000)
③ 事業収益	(39,521,699)	(28,628,101)	(10,893,598)
印刷物頒布収益	4,168,556	3,519,840	648,716
試験等事業収益	25,234,453	17,035,336	8,199,117
技術フォーラム参加収益	4,561,690	3,023,000	1,538,690
技術研修会等収益	1,157,000	197,165	959,835
業務受託収益	4,400,000	4,852,760	△ 452,760
④ 雑収益	(1,814,194)	(3,109,567)	(△ 1,295,373)
経常収益計	107,925,893	96,502,668	11,423,225
(2) 経常費用			
① 事業費	(63,631,667)	(61,327,259)	(2,304,408)
期首商品棚卸高	5,387,706	5,955,194	△ 567,488
期末商品棚卸高	△ 3,815,782	△ 5,387,706	1,571,924
技術開発研究費	1,589,418	7,185,613	△ 5,596,195
試験等事業費	23,866,559	15,860,300	8,006,259
人材育成事業費	16,224,500	15,661,043	563,457
出版事業費	11,802,680	10,863,360	939,320
広報活動費	2,110,897	3,162,243	△ 1,051,346
その他の活動費	0	0	0
賃借料	2,990,189	3,124,347	△ 134,158
広告宣伝費	626,500	1,025,200	△ 398,700
協賛金	1,749,000	1,459,000	290,000
助成金	1,100,000	2,418,665	△ 1,318,665
② 管理費	(47,366,551)	(51,646,395)	(△ 4,279,844)
職員給与	12,191,820	11,873,305	318,515
臨時雇用賃金	2,015,028	0	2,015,028
役員退任慰労金	20,000	40,000	△ 20,000
退職給付費用	301,623	300,027	1,596
福利厚生費	2,024,105	2,002,499	21,606
委託費	6,624,092	8,486,419	△ 1,862,327
会議費	6,292,206	7,781,712	△ 1,489,506
旅費交通費	3,305,339	3,410,244	△ 104,905
通信運搬費	1,507,741	1,540,523	△ 32,782
消耗品費	1,264,581	1,130,946	133,635
消耗什器備品費	124,080	9,411	114,669
保守費(IT関係)	528,000	528,000	0
印刷製本費	866,017	1,381,870	△ 515,853
水道光熱費	111,623	210,677	△ 99,054
諸謝金	367,560	600,000	△ 232,440
賃借料	6,568,156	6,625,369	△ 57,213
租税公課	1,405,000	1,659,660	△ 254,660
諸会費	596,100	567,982	28,118
渉外慶弔費	178,697	293,188	△ 114,491
雑費	1,074,783	3,204,563	△ 2,129,780
経常費用計	110,998,218	112,973,654	△ 1,975,436
当期経常増減額	△ 3,072,325	△ 16,470,986	13,398,661
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前期損益修正損	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,072,325	△ 16,470,986	13,398,661
一般正味財産期首残高	54,305,823	70,939,635	△ 16,633,812
一般正味財産期末残高	51,233,498	54,468,649	△ 3,235,151
II 正味財産期末残高	51,233,498	54,468,649	△ 3,235,151

財 産 目 録

令和8年3月31日

(単位/円)

科 目	本部		支部計		合計	
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	316,821		541,143		857,964	
郵便振替口座						
東京貯金事務センター	234,577		0		234,577	
普通預金						
みずほ銀行新橋支店(本部)	1,295,619		0		1,295,619	
三井住友銀行日比谷通支店(本部)	2,987		0		2,987	
北洋銀行南口支店(北海道)			3,673,088		3,673,088	
七十七銀行仙台東口支店(東北)			3,090,857		3,090,857	
第四北越銀行白山支店(新潟)			5,480,680		5,480,680	
富山銀行諏訪川原支店(富山)			2,186,013		2,186,013	
北國銀行 大徳支店(石川)			1,114,234		1,114,234	
八十二銀行風間支店(長野)			2,812,885		2,812,885	
静岡信用金庫城北支店(静岡)			974,197		974,197	
三菱UFJ銀行新橋支店(東海)			1,609,927		1,609,927	
三菱UFJ銀行新橋支店(関西)			2,985,640		2,985,640	
中国銀行県庁支店(中国)			3,260,991		3,260,991	
百十四銀行東支店(四国)			498,542		498,542	
福岡銀行博多駅東支店(九州)			3,544,126		3,544,126	
三菱UFJ銀行新橋支店(関東)			3,532,368		3,532,368	
定期預金						
三菱東京UFJ銀行新橋支店	0		0		0	
前払金	50,000		0		50,000	
未収金	32,350		0		32,350	
商品	3,815,782		0		3,815,782	
立替金	0		14,190		14,190	
流動資産合計		5,748,136		35,318,881		41,067,017
2 固定資産						
(1) 特定資産						
登録試験事業積立資産						
定期預金						
三井住友銀行日比谷通支店	0		0		0	
技術フォーラム事業積立資産						
定期預金						
三井住友銀行日比谷通支店	0		0		0	
出版事業積立資産						
定期預金						
三井住友銀行日比谷通支店	0		0		0	
職員退職給与積立金						
富山銀行諏訪川原支店(定期預金)			1,956,164		1,956,164	
運営資金積立金						
普通預金						
富山銀行諏訪川原支店			263,285		263,285	
四国銀行 高松支店			0		0	
定期預金						
第四銀行白山支店			0		0	
富山銀行諏訪川原支店			12,060,257		12,060,257	
特定資産合計	0		14,279,706		14,279,706	
(2) その他の固定資産						
什器備品	1		0		1	
電話加入権	6,000		0		6,000	
敷金	1,358,280		240,000		1,598,280	
その他の固定資産合計	1,364,281		240,000		1,604,281	
固定資産合計		1,364,281		14,519,706		15,883,987
資産合計			7,112,417		49,838,587	56,951,004
II 負債の部						
1 流動負債						
未払金	3,339,278		100,000		3,439,278	
前受金	20,400		0		20,400	
預り金	296,164		0		296,164	
仮受金	5,500		0		5,500	
流動負債合計		3,661,342		100,000		3,761,342
2 固定負債						
退職給与引当金	0		1,956,164		1,956,164	
固定負債合計		0		1,956,164		1,956,164
負債合計			3,661,342		2,056,164	5,717,506
正味財産			3,451,075		47,782,423	51,233,498

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

平成25年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日、平成21年10月16日改正)を採用している。

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(2)固定資産の減価償却の方法

什器備品については、定額法を採用している。

(3)引当金の計上基準

事業年度末日における退職給付見込み額を簡便法に基づき計上している。

(4)消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	0	0	0
技術フォーラム事業積立資産	0	0	0	0
出版事業積立資産	0	0	0	0
職員退職積立金	1,654,541	301,623	0	1,956,164
運営資金積立金	12,300,052	23,490	0	12,323,542
小 計	13,954,593	325,113	0	14,279,706
合 計	13,954,593	325,113	0	14,279,706

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	(0)	(0)	(0)
特定資産				
登録試験事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
技術フォーラム事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
出版事業積立資産	0	(0)	(0)	(0)
職員退職積立金	1,956,164	(0)	(1,956,164)	(0)
運営資金積立金	12,323,542	(0)	(12,323,542)	(0)
小 計	14,279,706	(0)	(14,279,706)	(0)
合 計	14,279,706	(0)	(14,279,706)	(0)

令和 8 年 5 月 26 日

一般社団法人斜面防災対策技術協会
会 長 若 林 直 樹 殿

一般社団法人斜面防災対策技術協会

監 事 石川 芳 治 

監 事 江口 喜 彦 

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 2 号議案 役員選任の件

役員改選（案）

現 在				改 選 案			
氏 名	所 属	備考	氏 名	所 属	備考		
若林 直樹	(株) 日さく 代表取締役社長		若林 直樹	(株) 日さく 代表取締役社長			
南 哲行	(一財)砂防・地すべり技術センター 相談役・顧問		南 哲行	(一財)砂防・地すべり技術センター 相談役・顧問			
相川 裕司	国土防災技術 (株) 代表取締役会長		相川 裕司	国土防災技術 (株) 代表取締役会長			
岡田 芳一	綜合地質コンサルタント (株) 常務取締役測量・設計部長		岡田 芳一	綜合地質コンサルタント (株) 常務取締役測量・設計部長			
杉浦 信男	(一社)斜面防災対策技術協会		杉浦 信男	(一社)斜面防災対策技術協会			
小沼 忠久	国土防災技術北海道 (株) 相談役		小沼 忠久	国土防災技術北海道 (株) 相談役			
奥山 信吾	奥山ボーリング (株) 代表取締役社長		奥山 信吾	奥山ボーリング (株) 代表取締役社長			
滝澤 俊康	ライト工業 (株) 技術営業本部斜面防災技術部長		滝澤 俊康	ライト工業 (株) 技術営業本部斜面防災技術部長			
金子 法泰	(株) 興和 執行役員 副社長		金子 法泰	(株) 興和 執行役員 副社長			
田中洋一郎	タイチ (株) 代表取締役		田中洋一郎	タイチ (株) 代表取締役			
尾蔵 丈房	(株) ホクコク地水代表取締役社長		尾蔵 丈房	(株) ホクコク地水代表取締役社長			
土屋 靖司	(株) 富士和 代表取締役社長		土屋 靖司	(株) 富士和 代表取締役社長			
栗野 靖浩	イビデングループ (株) 法面事業本部副本部長兼中部支店長		栗野 靖浩	イビデングループ (株) 法面事業本部副本部長兼中部支店長			
谷垣 和伸	(株) タニガキ建工 代表取締役社長		谷垣 和伸	(株) タニガキ建工 代表取締役社長			
宮本 克己	(株) エイト日本技術開発 取締役常務執行役員事業推進本部長		宮本 克己	(株) エイト日本技術開発 取締役常務執行役員事業推進本部長			
山本 和彦	(株) ナイバ 代表取締役		山本 和彦	(株) ナイバ 代表取締役			
古賀 俊行	(株) カミナガ 代表取締役社長		古賀 俊行	(株) カミナガ 代表取締役社長			
鍵原 和幸	日本基礎技術 (株) 執行役員東京支社長	退任	内海 正人	日本基礎技術 (株) 営業本部本部長			新任
藤元 亮	日本工営 (株) 国土基盤整備事業本部シニアスペシャリスト		藤元 亮	日本工営 (株) 国土基盤整備事業本部シニアスペシャリスト			
井上 淳平	明治コンサルタント (株) 専務取締役		井上 淳平	明治コンサルタント (株) 専務取締役			
綱木 亮介	(一財)砂防・地すべり技術センター 総括技師		綱木 亮介	(一財)砂防・地すべり技術センター 総括技師			
石川 芳治	東京農工大学 名誉教授		石川 芳治	東京農工大学 名誉教授			
江口 喜彦	日本サーベイ (株) 取締役 業務本部長		江口 喜彦	日本サーベイ (株) 取締役 業務本部長			

(報告事項)

第 1 号報告 令和 7 年度事業報告の件

令和 7 年度事業報告

登録地すべり防止工事試験及び地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）、登録斜面防災基幹技能者講習、及び斜面防災主任技能者試験の実施、斜面防災対策技術フォーラムの開催を予定通り実施すると共に、斜面防災技能者の能力評価実施機関として斜面防災工事に携わる技能者の能力評価を実施した。さらに、斜面防災対策技術の開発、普及、啓発事業等とりわけ支部活動への支援体制を強化するため、本部の委員会体制を抜本的に見直し、協会活動を積極的に行った。

会員数については、年度内に正会員 5 社、賛助会員 1 社の入会があった。しかしながら令和 6 年度限りで正会員 2 社、令和 7 年度限りで賛助会員 1 社の退会の申し入れがあり、引き続き協会活動を通じて会員のメリットを明確にして魅力ある協会にしていく必要がある。

1. 総会及び理事会関係

(1) 総会

定時社員総会（第 47 回）

令和 7 年 6 月 25 日（水） 於：砂防会館別館会議室「立山」

【審議事項】

- ①令和 6 年度収支決算承認の件
- ②役員選任の件

【報告事項】

- ①令和 6 年度事業報告の件
- ②令和 7 年度事業計画報告の件
- ③令和 7 年度収支予算報告の件

(2) 理事会

第 1 回理事会

令和 7 年 6 月 6 日（金）

於：砂防会館別館会議室「立山」及びオンライン会議

【審議事項】

- ① 会員入会承認の件
- ② 令和 6 年度事業報告承認の件
- ③ 令和 6 年度収支決算（案）承認の件
- ④ 令和 7 年度事業計画変更の件
- ⑤ 令和 7 年度収支予算変更の件
- ⑥ 役員人事（案）の件
- ⑦ 令和 7 年度定時社員総会招集の件

第 2 回理事会

令和 7 年 6 月 25 日（水） 於：砂防会館別館会議室「霧島」

【審議事項】

- ①会長及び副会長選定の件
- ②専務理事選定の件
- ③正会員入会承認の件

第3回理事会（書面決議）

令和7年8月6日（水）

【審議事項】

- ①顧問就任依頼の承認の件

第4回理事会

令和7年10月15日（水）

於：砂防会館別館会議室「六甲」及びオンライン会議

【審議事項】

- ①会員入会承認の件
- ②斜面防災工の能力評価基準について国土交通大臣の認定を受けるための申請等を行う件
- ③地すべり防止工事士の国土交通省技術者資格への更新申請の件

第5回理事会

令和8年3月25日（水）

於：砂防会館別館会議室「立山」及びオンライン会議

【審議事項】

- ①正会員入会承認の件
- ②令和8年度事業計画承認の件
- ③令和8年度収支予算承認の件
- ④登録地すべり防止工事試験実施機関の登録更新申請の承認の件
- ⑤令和9年度斜面防災対策技術フォーラム開催地の件
- ⑥法人化50周年記念式典開催承認の件

(3) 会員数（令和8年3月31日現在）

正会員5社、賛助会員1社の入会があり、年度末に賛助会員1社から退会の申し入れがあった。

- ・正会員数 219 会員（令和6年度末 216 会員）
（新会員5社：（共和防災建設（株）（東北支部）、（株）建設技術研究所（関東支部）、（株）白浜試錐（関西支部）、（株）大翔（関西支部）、（株）日さく長野営業所（長野支部）
令和6年度をもって退会2社：土木地質（株）（東北支部）、高橋組（新潟支部））
- ・賛助会員数 26 会員（令和6年度末 25 会員）
（新会員1社：（株）ケイエフ、令和7年度をもって退会1社：吉佳エンジニアリング（株））

2. 試験関係

(1) 登録地すべり防止工事試験

一次試験（筆記）

令和7年6月21日（土）に札幌、仙台、東京、新潟、富山、金沢、長野、

静岡、名古屋、神戸、岡山、高松、福岡の13都市で実施した。

受験者 161名 合格者 65名（合格率40.4%）

二次試験（面接）

令和7年9月20日（土）神戸、9月27日（土）東京、10月4日（土）福岡で実施した。

受験者 70名 合格者 67名（合格率95.7%） 最終合格率40.4%

(2) 地すべり防止工事士技術講習会（更新講習）

令和2年登録者及び令和5年度・6年度未受講者を対象として、以下の内容でオンデマンド方式により実施した。

①必須講座 1講座

「斜面对策工の点検・詳細調査から改修の計画・設計・施工計画の要点」

地すべり維持管理マニュアル編集出版委員会委員長 榎田充哉氏

②選択講座 3講座

「急傾斜地崩壊対策に関する基礎知識」

国土技術政策総合研究所土砂災害研究部土砂災害研究室長 瀧口茂隆氏

「地すべり対策におけるBIM/CIMの活用」

（国研）土木研究所土砂管理研究グループ上席研究員 杉本宏之氏

「地震と土砂災害」（一財）砂防・地すべり技術センター 小山内信智氏

選択講座は上記のうち1講座以上受講する。

必須講座終了後に成果確認テストを行い、合格者した者を資格更新した。

講習期間は令和7年8月1日～9月16日 受講者700名 修了者700名

地すべり防止工事士マイスター登録者総数は153名となった。

(3) 斜面防災主任技能者試験

令和7年6月21日（土）に札幌、仙台、東京、新潟、富山、金沢、長野、静岡、名古屋、神戸、岡山、高松、福岡の13都市で実施した。

受験者 184名 合格者 169名 合格率91.8%

(4) 登録斜面防災基幹技能者講習

令和7年度の登録斜面防災基幹技能者講習は、11月15日（土）、16日（日）の2日間で、東京会場のほか、札幌、仙台、東京、新潟、富山、金沢、長野、名古屋、高松、福岡の9会場はオンラインで実施した。

受講者 115名 修了者（修了試験合格者） 113名

3. 企画・総務関係

中長期的方針のもとに協会活動を推進するための具体的な施策した。

支部活動支援小委員会が編集小委員会と連携して支部と意見交換した。

4. 人材育成関係

(1) 令和7年度地すべり防止技術研修

地すべり防止技術研修は、（一財）全国建設研修センターとの共催で国土交通省等の後援を得て昭和54年から実施しているが、令和7年度は5月19日（月）から23日（金）の5日間で実施された。

受講生は38名であった。

(2) 斜面防災技能者の能力評価制度の創設

斜面防災工事に携わる技能者の技能能力評価基準を国土交通省に申請し、令和7年12月12日に認定を受け、能力評価団体として斜面防災技能者の技能能力評価を12月22日より実施した。

5. 広報関係

(1) ホームページの活用

機関誌「斜面防災技術」に掲載された技術情報を順次ホームページで公開した。国土交通省等からの通知等を会員専用ページに迅速に掲載し、会員への情報提供に努めた。

ホームページをより使いやすいものにするため、ホームページ委員会の指導のもと改良に努めた。

6. 技術活用関係

(1) 第27回斜面防災対策技術フォーラム '25 in 富山の開催

フォーラム委員会の指導のもと富山支部の支援を得て令和7年10月9日（木）にホテルグランテラス富山において第27回斜面防災対策技術フォーラム '25 in 富山を開催した。

特別講演 竹内 章氏 富山大学名誉教授

演 題 「北陸の地震情勢と南海トラフ地震への備え」

特別報告

「令和6年能登半島地震での調査団活動報告」（災害対応小委員会）

「支部の活動報告（子供砂防教室）」（富山支部）

技術発表 30編

参加者 277名

技術発表の最優秀発表者として

A会場：瀬能正太郎（三和ボーリング株式会社）

B会場：塚越愛（国土防災技術株式会社）

C会場：近藤雄也（国土防災技術株式会社）

の3氏を表彰した。

また、優秀発表者として

A 会場：前原崇志（日本工営株式会社）、岩山いづみ（株式会社村尾地研）

B 会場：高柳伸之（ダイチ株式会社）、村松祐太（株式会社ホクコク地水）

C 会場：久保嘉輝（株式会社エイト日本技術開発）、佐志啓未（日本工営株式会社）

の 6 氏を表彰した。

技術フォーラム翌日の現地研修会は、立山カルデラ砂防博物館、称名の滝遊歩道の高エネルギー吸収落石防護柵等の現場において実施し、37 名（うち富山県内大学から 4 名の学生）が参加した。

(3) 技術書の出版

斜面对防災関係技術図書の販売、普及に務めるとともに、地すべり鋼管杭設計要領の改訂作業を進め、改定案を取りまとめた。また、会員からの要望が多い、BIM/CIM・ITC の事例集の編集を進めた。

7. 積算・歩掛の改善

技術活用委員会積算・歩掛小委員会は、斜面防災工維持管理実施要領の積算歩掛編が完成したことから、斜面防災対策の工事、調査・設計の積算・歩掛を集中的に検討するため、小委員会から積算・歩掛検討委員会に格上げし、検討を始めた。昨年度のアンケートでも要望の高かったアンカー工の足場の歩掛について検討を行った。

8. 編集関係

編集委員会を 2 か月に 1 回の頻度で開催し、機関誌「斜面防災技術」の第 153 号～第 155 号を発刊した。

本部編集委員と支部編集委員による合同編集会議を令和 7 年 4 月 11 日にオンラインでの参加も加えて開催し、支部関係の情報収集を密にできるよう意見交換を実施した。

座談会を中国支部と 6 月 11 日に岡山市で、徳島県県土整備部砂防防災課と 9 月 2 日に徳島市で開催した。徳島県との座談会には京都大学防災研究所の山崎新太郎准教授にもご出席いただいた。中国支部の座談会記録は機関誌第 154 号に、徳島県との座談会記録は第 155 号及び第 156 号に掲載した。

9. 支部活動

13 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施した。

- ・各支部管内で登録地すべり防止工事試験、斜面防災主任技能者試験及び登録斜面防災基幹技能者講習の運営、並びに地すべり防止技術講習会の案内
- ・国、県等の要請に対応して斜面災害調査、応急工事への支援
- ・国、県等斜面对策事業者に対する広報・要望活動
- ・斜面防災対策技術者の技術向上のための講習会、研修会、見学会等の開催、協

力支援等

10. 国土交通省砂防部との懇談

- ・国土交通省砂防部との懇談会を、令和7年10月15日に東京で開催した。

11. 全国事務局長会議

令和8月1月29日（木）にオンラインで全国事務局長会議を開催し、協会運営に関する諸事項の協議と各事務局間での意思疎通を図った。

12. 他団体等への協賛・助成・活動支援

以下の諸行事等に対して協賛・助成・活動支援した。

- ・土砂災害防止月間（6月1日～30日）
- ・日本地すべり学会研究発表会
- ・砂防学会研究発表会
- ・国際防災学会 INTERPRAEVENT 2026 in Sapporo Hokkaido
- ・雪崩防災シンポジウム
- ・砂防図書館の共同運営事業
- ・砂防ボランティア基金 等

以 上

(報告事項)

第2号報告 令和8年度事業計画報告の件

令和 8 年度事業計画

一般社団法人斜面防災対策技術協会は、会員相互の協力によって斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図り、もって斜面防災対策事業の普及と促進に協力し、国土の保全と民生の安定に寄与することを目的として、令和 8 年度は以下の計画に基づき活動を強力に推進する。特に、斜面防災工事に携わる技能者のスキルアップのため資格試験、講習会等を開催するとともに斜面防災技能者の能力評価事務を行う。

1. 総会、理事会及び要望活動関係

- (1) 第 48 回定時社員総会を令和 8 年 6 月 24 日（水）砂防会館別館にて開催する。
- (2) 理事会は年 3 回（令和 8 年 6 月 5 日（金）、10 月 13 日（火）、令和 9 年 3 月下旬に開催する。

(3) 重点活動の展開

- 1) 以下の協会の活動目的を達成するため、態勢の強化及び活性化を図る。
 - ①個々の会員の技術力の向上による質の高い斜面防災対策施設の建設と地域の斜面防災に対する安全度の急速な向上を図ること。
 - ②斜面防災対策工事、調査等が適正に評価され、斜面防災対策業全体として健全な発展が図られること。
 - ③地すべり防止工事士の専門性に対する社会的信頼を積み重ね、もって強靱な社会資本整備へ貢献すること。
 - ④斜面防災工事に携わる技能者の能力を適切に評価できる技能講習及び資格検定試験を実施する。
 - ア. 斜面防災主任技能者資格試験を実施、認定する。
 - イ. 登録斜面防災基幹技能者講習を実施、認定する。
 - ⑤斜面防災技能者の能力評価を行う。
 - ⑥協会が保有する斜面防災対策技術を普及するため、講習会、研修会、出版等の活動を推進する。
 - ⑦迅速な災害対応のため、国、都道府県との災害協定の締結および大規模災害への関与に関して、支部・本部一体となって活動に取り組む。
 - ⑧支部と整備局・都道府県との意見交換等に努める。
- 2) 当協会会員の活用、「地すべり防止工事士」、「斜面防災主任技能者」及び「登録斜面防災基幹技能者」の活用、並びに斜面防災対策業の健全な発展を図るため、国土交通省等関係機関との意見交換、要望活動を積極的に行う。
- 3) 会員個々へのサービス向上活動を推進する。

2. 登録地すべり工事試験及び地すべり防止工事士技術講習の実施

登録地すべり防止工事試験及び技術講習会を以下のとおり実施する。

(1) 登録地すべり防止工事試験

①一次試験

令和8年6月20日（土）に全国13都市で開催する。

②二次試験

3会場に絞って実施する。

令和8年9月12日（土）東京都、9月19日（土）神戸市、
10月3日（土）福岡市

(2) 技術講習会

令和3年度登録者及び令和6年度及び令和7年度未受講者を対象として、
全国で8月にオンデマンド方式で開催する。

※受講予定者数は約1,050名

3. 斜面防災主任技能者試験の実施

斜面防災主任技能者試験を以下のとおり実施する。

令和8年6月20日（土）に全国13都市で開催する。

受験料、登録料とも会員は一般価格の半額とする。

4. 登録斜面防災基幹技能者講習の実施

登録斜面防災基幹技能者講習を10月23日（金）、24日（土）の2日間で開催する。

5. 斜面防災技能者の技能能力評価の認定

申請により斜面防災技能者の技能能力評価を実施し、技能レベルを認定する。

6. 企画総務関係

- (1) 中長期的方針のもとに協会活動を推進するための具体的な施策を検討する。
- (2) 本部の収支改善を強力に推し進める。
- (3) 支部活動支援小委員会に、支部会員、支部賛助会員の制度化を検討する。
- (4) 令和10年度の法人化50周年記念に向けて記念事業計画を詰めていく。

7. 広報関係

- (1) 斜面防災対策事業の発展と普及啓蒙のため、協会誌「斜面防災技術」第 156～158 号を発刊する。会誌編集のため、本部と支部編集委員による合同編集会議を令和 8 年 4 月 10 日（金）に開催し、本部と支部の意思疎通を図る。座談会は 2 回開催する。
- (2) 協会ホームページの内容を充実させ、協会活動を広くアピールするための広報を強化すると共に、会員への有益なツールに発展させる。
- (3) 「斜面防災 News Letter」を継続的に発行して会員への情報提供を行う。
- (4) 支部活動を支援するため支部アンケート等を行う。
- (5) 「地すべり防止工事士」、「登録斜面防災基幹技能者」、「斜面防災主任技能者」等の広報資料を適宜作成し、関係機関に提供できるようにする。

8. 技術活用関係

- (1) 災害発生時、国、県の要請に対応して、迅速に斜面災害調査、応急工事を支援する。そのため、災害対応支援体制及び対応技術力の向上等に努める。
- (2) 斜面防災対策技術の進歩改善に関する調査及び研究を推進する。
- (3) 斜面防災に関する適切な積算体系の検討や資料収集・整理に関する事項を確立させる。特に、「斜面对策工維持管理実施要領」積算歩掛編別冊資料を発行する。
- (4) 地すべり鋼管杭設計要領の新たな改訂（案）を取りまとめる。また BIM/CIM・ITC 事例集（仮称）を取りまとめる。
- (5) 地すべり防止工事士の活用状況を協会内で調査し、活用に向けて要望活動の資料を作成する。
- (6) C P D（継続教育）制度を充実させる。

9. 人材育成関係

- (1) 登録斜面防災基幹技能者講習会を開催する。
- (2) 斜面防災対策技術向上のための講習会、研修会等を実施する。
- (3) 会員企業の若手技術者教育のための研修会等を実施する。
- (4) 第 28 回「斜面防災対策技術フォーラム'26」を、四国支部の協力のもと徳島県徳島市で令和 8 年 10 月 8 日に開催し、翌 9 日に現地研修会を実施する。

- (5) 令和 8 年度地すべり防止技術研修を、(一財) 全国建設研修センターと共催、国土交通省等の後援を得て、令和 8 年 5 月 18 日 (月) から 22 日 (金) までの間に小平市の全国建設研修センターで実施する。

10. 各支部の活動

13 支部において、斜面防災対策技術の向上及び斜面防災対策業の健全な発展を図るため以下の活動を実施する。

- (1) 全支部において、本部又は他支部と連動した会員確保活動、講習会・研修会の開催、その他諸活動を実施し、支部の活性化ならびに支部運営の健全化を図る。また、会員への有益な情報提供活動を充実させる。
- (2) 国、県の要請に対応して斜面災害調査、応急工事を支援する。
- (3) (公社) 日本地すべり学会等、関係団体との連携又は活動支援を行う。
- (4) 発注者に対して、積極的な要望活動を行う。

11. 国土交通省等との懇談

国土交通省砂防部との懇談会を 10 月 13 日 (火) に開催する。

支部と地方整備局及び都道府県との意見交換会の拡充を検討する。

12. 全国事務局長会議

令和 8 年度の全国事務局長会議を開催し、事務局相互の意思疎通を図る。

13. 協会・他団体等への協賛・助成

以下の諸行事等に対して協賛・助成する。

- (1) 土砂災害防止月間
- (2) (公社) 日本地すべり学会研究発表会
- (3) (公社) 砂防学会研究発表会
- (4) 国際シンポジウム INTERPRAEVENT 2026 in Sapporo Hokkaido
- (5) 雪崩防災シンポジウム
- (6) 砂防図書館の共同運営事業
- (7) 砂防ボランティア基金 等

以上

(報告事項)

第 3 号報告 令和 8 年度収支予算報告の件

令和8年度収支予算

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本 部		支 部		全 体	
	令和8年度予算	令和7年度予算	令和8年度予算	令和7年度予算	令和8年度予算	令和7年度予算
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 入会金収益	(800,000)	(300,000)	(0)	(30,000)	(800,000)	(330,000)
② 会費収益	(33,670,000)	(32,930,000)	(37,235,000)	(36,970,000)	(70,905,000)	(69,900,000)
正会員会費	31,120,000	30,380,000			31,120,000	30,380,000
支部会費			37,230,000	36,965,000	37,230,000	36,965,000
賛助会員会費	2,550,000	2,550,000	5,000	5,000	2,555,000	2,555,000
③ 事業収益	(32,559,130)	(30,964,910)	(5,912,900)	(4,711,660)	(38,472,030)	(35,676,570)
印刷物頒布収益	3,731,730	3,086,310	0	0	3,731,730	3,086,310
試験等事業収益	25,877,000	25,678,600	502,900	401,660	26,379,900	26,080,260
技術フォーラム参加収益	2,630,000	1,900,000	1,200,000	0	3,830,000	1,900,000
技術研修会収益			10,000	110,000	10,000	110,000
業務受託収益	320,400	300,000	4,200,000	4,200,000	4,520,400	4,500,000
④ 雑収益	(630,401)	(707,876)	(2,525,656)	(3,693,627)	(3,156,057)	(4,401,503)
受取利息	19,401	7,876	32,389	7,796	51,790	15,672
支部活動費(本部から)			400,000	1,700,000	400,000	1,700,000
その他収益	611,000	700,000	2,093,267	1,985,831	2,704,267	2,685,831
事業活動収入計	67,659,531	64,902,786	45,673,556	45,405,287	113,333,087	110,308,073
(1) 経常費用						
① 事業費	(47,109,159)	(47,446,340)	(18,699,080)	(16,181,830)	(65,808,239)	(63,628,170)
期首商品棚卸高	3,815,782	5,387,706			3,815,782	5,387,706
期末商品棚卸高	△ 2,790,804	△ 4,020,568			△ 2,790,804	△ 4,020,568
技術開発研究費	176,250	102,640	9,046,000	8,977,000	9,222,250	9,079,640
試験等事業費	22,323,527	18,362,868	512,900	411,600	22,836,427	18,774,468
人材育成事業費	7,756,151	9,259,176	530,000	230,000	8,286,151	9,489,176
研修会等事業	0	0	1,430,000	1,703,050	1,430,000	1,703,050
出版事業費	11,245,253	10,959,699	562,000	562,000	11,807,253	11,521,699
広報活動費	125,000	117,000	2,169,180	2,219,180	2,294,180	2,336,180
賃借料	3,038,000	3,037,819	0	0	3,038,000	3,037,819
その他の活動費	0	0	2,605,000	210,000	2,605,000	210,000
支部活動費	0	0	0	0	0	0
創立記念事業	0	0	50,000	50,000	50,000	50,000
広告宣伝費	60,000	55,000	585,000	580,000	645,000	635,000
協賛金	1,060,000	1,410,000	509,000	539,000	1,569,000	1,949,000
助成金	300,000	2,775,000	700,000	700,000	1,000,000	3,475,000
② 管理費	(17,894,129)	(17,064,953)	(31,425,720)	(31,636,941)	(49,319,849)	(48,701,894)
職員給与	5,120,000	4,829,869	7,540,000	7,540,000	12,660,000	12,369,869
臨時雇用賃金	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0
役員退任慰労金	0	0	300,000	320,000	300,000	320,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	991,762	944,668	1,156,000	1,150,000	2,147,762	2,094,668
委託費	1,172,000	1,282,000	5,160,000	5,160,000	6,332,000	6,442,000
会議費	1,910,000	2,228,532	5,590,000	5,450,965	7,500,000	7,679,497
旅費交通費	922,493	840,000	3,212,720	3,571,935	4,135,213	4,411,935
通信運搬費	311,149	305,612	1,435,000	1,407,431	1,746,149	1,713,043
消耗品費	429,993	260,000	505,000	505,000	934,993	765,000
消耗什器備品費	0	0	56,000	56,000	56,000	56,000
保守費(IT関連)	528,000	484,000	0	0	528,000	484,000
印刷製本費	508,086	560,000	470,000	520,000	978,086	1,080,000
水道光熱費	112,530	118,117	0	0	112,530	118,117
諸謝金	35,000	35,000	1,130,000	1,130,000	1,165,000	1,165,000
賃借料	2,957,856	3,037,820	3,470,000	3,410,000	6,427,856	6,447,820
租税公課	1,514,500	1,728,400	91,000	91,000	1,605,500	1,819,400
諸会費	90,500	90,500	260,000	310,100	350,500	400,600
渉外慶弔費	100,000	100,000	110,000	84,510	210,000	184,510
雑費	190,260	220,435	940,000	930,000	1,130,260	1,150,435
経常費用計	65,003,288	64,511,293	50,124,800	47,818,771	115,128,088	112,330,064
当期経常増減額	2,656,243	391,493	△ 4,451,244	△ 2,413,484	△ 1,795,001	△ 2,021,991
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
前期損益修正損	0	0	0	0	0	0
電話加入権評価損	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,656,243	391,493	△ 4,451,244	△ 2,413,484	△ 1,795,001	△ 2,021,991
一般正味財産期首残高	3,451,075	5,119,931	47,782,423	49,348,816	51,233,498	54,468,747
一般正味財産期末残高	6,107,318	5,511,424	43,331,179	46,935,332	49,438,497	52,446,756
II 正味財産期末残高	6,107,318	5,511,424	43,331,179	46,935,332	49,438,497	52,446,756

注：令和8年度に、本部会計内に災害調査積立金及び法人化50周年記念事業積立金を創設する。

一般社団法人 斜面防災対策技術協会
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 北海道支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東北支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関東支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 新潟支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 富山支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 石川支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 長野支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 静岡支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 東海支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 関西支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 中国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 四国支部
一般社団法人 斜面防災対策技術協会 九州支部